

# 萩医療圏が目指す中核病院づくり

萩医療圏では、医師や看護師などの医療従事者の不足や高齢化が深刻な課題であり、一般的な入院治療や二次救急医療などの医療提供体制の維持が困難になりつつあります。市民の皆さんが、住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくためには、効率的で、質の高い医療体制の確保が不可欠です。

地域医療構想調整会議（事務局：山口県）で確認された方向性に沿って、萩市民病院と都志見病院の統合による中核病院の形成を目指し、病院統合に関する基本的な事項について、調整、協議を行っています。



## 現在

都志見病院を運営する医療法人と萩市が病院統合に関する基本的事項について協議中

## 基本合意

### 病院統合・独立行政法人化に向けた準備

法人定款作成、中期目標・中期計画策定など

### (仮称) 中核病院準備委員会

- 両病院長や医療関係者、外部有識者等で構成
- 中核病院の方向性や地方独立行政法人化に必要な事項について検討・協議

#### ■両病院協議

両病院幹部（院長等）で、病院運営等に関する事項の検討・協議、案の作成

#### ■専門ワーキンググループ

両病院の医療従事者等で、具体的事項の検討・協議

## 経営統合（基本合意の概ね2年後）

**中核病院**（可能な範囲で機能集約）  
地方独立行政法人で2つの病院施設を運営



現:萩市民病院



現:都志見病院

## 病院施設・機能集約（経営統合の数年後）

### 中核病院



2つの病院施設や人材等を1か所に集約  
(場所は今後検討)

Q

中核病院はどのような病院なの？

地域の医療機関と連携し、**地域医療の核となる役割を担う病院**のことです。病床数や診療科の種類等の基準はありません。かかりつけ医では難しい専門的な検査や治療を行い、さらに高度な治療が必要な場合は、大学病院などに紹介します。

大学病院や日赤病院のような大きな病院ができるの？

**萩医療圏の医療提供体制の維持**を目的に、2病院統合による中核病院づくりの取組を進めています。統合しても、大学病院のような**大きな病院ができるわけではありません。**

どうして中核病院が必要なの？

お医者さんや看護師さんたちが高齢化や不足して、このままだと、救急医療などが身近な地域で受けられなくなるおそれがあります。**医療を維持していくためには、中核病院をつくって、限られた医療人材などを集約し、効率的な体制にしていく必要があります。**

萩市に中核病院をつくらなくても、山口市や長門市などの病院に行けばよいのでは？

二次救急医療や一般的な入院治療を提供する体制は、それぞれの医療圏で整備し、対応することになっています。**医療圏域外への救急搬送は、原則として高度な救命救急など萩医療圏で対応できない場合や「かかりつけ」などに限られます。**  
(田万川、須佐地域は、協定に基づき益田市の医療機関へ搬送)

病院統合に関する基本合意では、どんなことを確認しているの？

**統合に関する基本的な事項**（都志見病院の譲渡資産の範囲や価額、統合時期、職員の取扱い等）について協議しています。

中核病院はいつできるの？  
どのようなスケジュールなの？

できるだけ早くできるように取り組んでいます。**基本合意後は、中核病院をつくる（経営統合）までに、準備に2年程度かかる見込み**です。経営統合後も当面は2か所の病院施設で運営しますが、なるべく早い段階（数年）で1か所に集約する予定です。

令和6年4月発行

中核病院の形成に関するご意見やご要望を承ります。

地域や団体の集まりなどで、中核病院づくりについて説明し、意見を伺う「中核病院なんでもトーク」を行っています。  
ご希望がありましたら、中核病院準備室までお申し込みください。

萩市中核病院準備室  
メール [tyuukaku@city.hagi.lg.jp](mailto:tyuukaku@city.hagi.lg.jp)  
電話 0838-21-3120

